

大会規定

1. チーム登録選手は11名以上25名以内とし、登録された選手の変更は一切認めない。ベンチに入れるのは登録された25名以内とする。
2. 出場選手は連盟に登録され、スポーツ保険加入者に限る。
3. 登録選手及び登録された監督・コーチ・マネージャーのみベンチに入ることが出来る。
4. 組み合わせの若番号が一塁側のベンチ、後番号が三塁側ベンチに入る。但し監督・コーチは登録証を携帯すること。
5. 監督（背番号60）・コーチ（背番号50）は選手と同じユニフォームを着用すること。スパイクも選手と同色・同ラインに限る。
6. 各チームは、試合開始予定の1時間前までに試合会場に到着し、代表（チーム責任者）は到着後直ちに大会本部に到着の報告をし、オーダー表5部を提出して所定の審査を受けられるよう、準備し待機すること。尚、試合開始までにチームが到着しない場合は主審は没収試合を宣言することが出来る。
7. 球場責任者および球場責任審判員の指示のもと、両チームキャプテンにより先攻・後攻をジャンケンで決める。
8. 試合は中学生の部・中学生 Jr の部ともに7回戦とする。但し、2時間を超えて新しいイニングには入らない。また時間内で同点の場合は1回の延長を認める。尚、決勝戦に限り、時間に関係なく1回の延長を認める。
9. 最終回を終わって同点の場合は、最終メンバー9名全員の抽選により勝敗を決定する。但し決勝戦において定められた延長でも勝敗が決しない場合は、タイブレーク方式を実施する。タイブレークは連盟の「タイブレーク実施細則」により行う。
10. 中学生の部・中学生 Jr の部ともに、4回終了時点10点差・5回以降7点差の場合はコールドゲームとする。
11. 降雨、日没、その他の理由により試合続行不可能となった場合、4回以降であればコールドゲームが成立、3回以内であればサスペンデッドとし、次の試合日に再開する。但し4回以降同点の場合は最終回終了時に最終メンバー9名全員の抽選により勝敗を決定する。
12. 投球数については連盟のガイドラインに準ずる。【連盟ホームページ参照】
13. 攻・守で監督およびコーチの指示・伝達は1試合で各2回の計4回を限度とする。延長に入った場合は1回の指示・伝達を認める。（選手のケガや、選手交代などは回数をカウントしない。）守備側の投手に対する指示・伝達が3回目となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。内野手（捕手を含む）が2人以上投手のところに行った時も1回に数える。また指示・伝達は審判がタイムを宣告してから「30秒以内」とする。
14. 監督・コーチが選手にアドバイスする時はマウンド付近で行うこと。
15. チームの抗議権は監督のみとする。
16. ヘルメットを1チーム7個同色で安全なものを備えること。
17. バットおよびグローブ、スパイクなど野球用具は連盟指定業者のものに限る。
18. 捕手は、必ずヘルメット並びに規定防具を試合および練習を問わず着用すること。
19. グラウンドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合はそれに従うこと。
20. ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。
21. 大会中の負傷については応急処置を行うが、それ以外の責任はもたない。
22. その他の規定は（公財）日本少年野球連盟の規定に従う。